

令和4年度
大村市教育委員会
点検・評価報告書
【令和3年度事業分】

令和4年10月
大村市教育委員会

目 次

はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
学識経験者の所見	・ ・ ・ ・ ・ 2～4
第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	
1 教育委員会及び教育委員の活動	・ ・ ・ ・ ・ 5
（1）教育委員会会議の運営及び情報発信	
（2）教育委員会と事務局との連携	
（3）教育委員会と市長との連携	
（4）教育機関等との連携	
（5）教育委員の自己研鑽	
2 教育委員会が管理又は執行する事務	・ ・ ・ ・ ・ 6
（1）学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	
（2）学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	
（3）県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	
（4）教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び 中学校を除く）の長の任免	
（5）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	
（6）教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	
（7）教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	
（8）教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	
（9）学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	
（10）教科用図書の採択に関すること	
第2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	
基本目標1：人を育むまち	
〈子育てしやすいまちづくり〉	
1 子育てを支える環境の充実	・ ・ ・ ・ ・ 7
（1）巡回補導事業	
2 子育てと支援の両立	・ ・ ・ ・ ・ 7
（1）放課後子ども教室推進事業	
〈豊かな学力と生きる力を育む教育の充実〉	
3 幼児教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ 7
（1）幼稚園運営事業	
4 小・中学校教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ 8～11
（1）小・中学校管理事業	
（2）小・中学校教育用コンピュータ活用事業	
（3）小・中学校教育用ICT機器活用事業	
（4）小・中学校災害共済給付事業	
（5）小・中学校教材等整備事業	
（6）小・中学校就学援助事業	
（7）子ども読書活動推進事業	

- (8) 特別支援教育推進事業
- (9) 英語力向上対策事業
- (10) 学校経営研究事業
- (11) 教員補助員派遣事業
- (12) 教職員研修事業
- (13) 就学教育相談事業
- (14) 就学時健康診断事業
- (15) 小・中学校健康管理支援事業
- (16) 小学校体育大会開催事業
- (17) 小中学生文化振興事業
- (18) 中学校体育大会開催事業（市中総体）
- (19) 中学校体育大会開催事業（県中総体）
- (20) 保健推進事業
- (21) 小中連携・一貫教育事業

5 教育環境の充実 11～13

- (1) 小・中学校遠距離通学対策事業
- (2) 大村市心の教室相談員配置事業
- (3) 心のケア充実対策事業
- (4) 学校適応指導教室運営事業
- (5) 小・中学校管理事業
- (6) 小・中学校校舎等整備事業
- (7) 小・中学校施設長寿命化計画推進事業
- (8) 奨学金事業
- (9) 学校給食管理事業
- (10) 学校給食助成事業

〈文化の振興と生涯学習の充実〉

6 文化財の保護・活用・継承 14～15

- (1) 文化財管理事業
- (2) 市内遺跡発掘調査事業
- (3) 三城城跡保存整備事業
- (4) 民俗芸能保存事業
- (5) 旧楠本正隆屋敷管理運営事業
- (6) 歴史資料館管理運営事業

7 芸術・文化の振興 16

- (1) 文化活動振興事業
- (2) 市民ギャラリー運営費補助金
- (3) 子ども芸術文化活動事業
- (4) 音楽があふれるまちづくり事業
- (5) 体育文化センター設備改修事業

8	生涯学習の充実	・・・・・・・・・・	17～18
	(1) 成人式開催事業		
	(2) 公民館管理運営事業		
	(3) 公民館講座開催事業		
	(4) 西大村地区公民館管理運営事業		
	(5) 子ども科学館運営管理事業		
	(6) 視聴覚ライブラリー管理運営事業		
	(7) 地区住民センター活動支援事業		
	(8) 生涯学習推進事業		
9	青少年の健全育成	・・・・・・・・・・	19
	(1) 健全育成協議会支援事業		
	(2) 子ども会育成事業		
	(3) 巡回補導事業（再掲）		
	(4) 少年センター管理運営事業		
10	図書館の充実と整備	・・・・・・・・・・	20
	(1) 図書館管理運営事業		
	(2) 図書等整備事業		
	(3) ミライオン施設等維持管理事業		
基本目標2：健康でいきいき暮らせるまち			
〈健康づくりの推進と医療体制の充実〉			
11	スポーツの振興	・・・・・・・・・・	21
	(1) 体育文化センター運営管理事業		
基本目標3：持続可能な行財政運営と市民協働の推進			
〈効率的で開かれた行政運営の推進〉			
12	効率的な行政運営の推進	・・・・・・・・・・	21
	(1) 公共施設予約システム管理事業		
〈地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり〉			
13	地域コミュニティの活性化	・・・・・・・・・・	21
	(1) 大村市公民館連絡協議会補助金		
	(2) 町内公民館建設費補助金		
14	市民活動の支援と協働の推進	・・・・・・・・・・	22
	(1) 市民憲章推進事業		
〈お互いを尊重し、誰もが活躍できる社会づくり〉			
15	人権に関する教育と相談体制の充実	・・・・・・・・・・	22
	(1) 人権教育推進事業		
第三期大村市教育振興基本計画（令和2年度～6年度）			
		・・・・・・・・・・	23～26

はじめに

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してその結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

所 見

大村市教育委員会の令和4年度点検・評価報告書（令和3年度事業分）について概要説明を受け、ヒアリングを行ったので、その所見を述べさせていただきます。

（評価できる点）

- 1 小・中学校教育用コンピュータ活用事業及び小・中学校教育用ICT機器活用事業については、急速に情報化が進展する現代社会やコロナ禍の対応として、ICT機器を活用した授業が不可欠であり、コンピュータを介して「情報」に主体的に対応できる力を養うための有効性は高い。また、市全体の授業改善の推進や学力向上が期待でき、将来における新たな個に応じた教育の進展においても大変評価できる。
- 2 英語力向上対策事業については、13人のALTを配置し、外国人と接する学習場面を設定し、実体験を通して英語のコミュニケーション能力を育成し、言語や異文化に対する理解を深めることができ評価できる。
今後、市全体で英語に興味のある児童生徒を限定し、イングリッシュデーなど活用して、各学校の英語力の核になる児童生徒の育成を図るなど、今後必要不可欠な英語力の向上に寄与できるよう、組織的に育成することも必要である。
- 3 小・中学校施設長寿命化計画推進事業については、ハード面における教育環境の充実を図ることで、快適な学習環境による教育効果が期待でき、評価できる。
- 4 奨学金事業は、夢を叶える能力はあっても、家庭の経済的事情で断念せざるを得なかった子ども達を支援する事業である。
令和3年度に給付型奨学金制度を再設計し、条例改正を行ない、学業のみならずスポーツ、文化芸術分野、さらに海外留学を対象とするよう拡充されたことは、子ども達の明るい未来を創造することができるとともに、素晴らしい人材を大村から発掘できるきっかけとなると思われることから評価できる。
- 5 学校給食助成事業については、学校給食センターも充実し、安全・安心で良質な学校給食物資を適正価格で一括購入し、円滑な学校給食が実施できており、評価できる。
- 6 歴史資料館管理運営事業については、ミライオン内に設置され、大村に関する歴史的資料の展示や資料閲覧・講座などを通して歴史情報を発信し、地域の歴史の理解を深めることができ、評価できる。

- 7 子ども芸術文化活動事業及び音楽があふれるまちづくり事業については、長崎O MURA室内合奏団を軸に、子ども達や市民が生の芸術に触れることにより、情操教育に寄与でき、評価できる。今後、「豊かな音楽の流れるまち大村」となるよう特色のある日本一のまちづくりを目指し、事業を実施していただきたい。
- 8 成人式開催事業については、コロナ禍の中、令和3年度は、令和2年度からの延期分も含め、2回の実施となった。新成人及び次期成人からなる企画運営委員会が式典の企画・運営を行うことにより、成人としての責任を自覚することができたことは評価できる。また、Y o u T u b e（ユーチューブ）でのオンライン配信や式典会場の記念撮影会場としての開放などは、ウィズコロナにおける新しい試みであり、評価できる。
- 9 健全育成協議会支援事業については、多くの子ども達が気軽なコミュニケーションツールとしてSNSを利用しており、ネットいじめ、不適切な投稿や情報発信、ネット上の掲示板などを通じて知らない人と出会ってトラブルに巻き込まれる事件なども後を絶たない。
このことから、メディア安全指導員の活用は有用である。メディア安全指導講習会の実績は、令和2年度で25回（延べ3,379人参加）、令和3年度で32回（延べ4,811人参加）となっており、メディア対策への意識や必要性を高まらせていると判断でき、評価できる。
- 10 図書館管理運営事業については、コロナ禍の状況の中でも休館せずに開館時間の短縮で対応するとともに、著名人のトークショーやギャラリー等の施設空間を工夫して活用することで、利用状況が昨年度より増加しており、評価できる。
- 11 教員補助員派遣事業については、学力向上・低学年への指導、特別支援学級への支援など、補助員の適正な配置によって、個々の児童生徒への対応ができており、評価できる。
- 12 学校適応指導教室運営事業、大村市心の教室相談員配置事業及び心のケア充実対策事業については、「あおば教室」による不登校の対応や「心の教室相談員」を全中学校及び小学校13校に配置し、児童生徒の心の安定を図るとともに、スクールソーシャルワーカーの配置により児童生徒だけでなく保護者への対応も図っており、評価できる。

(改善を要する点)

- 1 我が国は資源が乏しい国であるが、GNI（国民総所得）は世界トップクラスである。その根拠は、日本人の高い教育を受けた人材や技術、勤勉性に基づく組織力などの知的資源があるからだと考える。それを継続させるには、いかに知的資源を開発するかであり、そのため教育にける期待は大きく、教育にける投資は重要である。

大村市の現状においては、スポーツ面では、陸上競技をはじめ、野球、ソフトボール、バレーボールなど多くの競技において、国内外での活躍を見せる選手達が増加している。また、学術・研究面、文化・芸術面においても、自然科学研究、放送、声楽などの分野において、同様の活躍が多く見られるようになっている。

現在、活動しているスポーツや文化・芸術活動等への支援により、将来大村市が「〇〇日本一おおむら」と言われるように、その基盤づくりための事業の実施により一層尽力願いたい。

- 2 大村市において積極的な文化活動が計画されている中で、その発表する場所として「さくらホール」が唯一整ったホールとして存在しているが、今後もっと大きなイベントが開催できるようにしていただきたい。

- 3 子ども会育成事業については、コロナ禍の中で、様々な行事の中止や開催規模の縮小などで、ここ数年は、学校、家庭及び地域の連携が上手くとれていないように感じる。また、核家族化や情報化社会の急速な進展に伴い、家庭環境や地域を取り巻く社会環境は著しく変化し、人と人との絆の希薄化も感じる。子ども達にとってはあまり恵まれた環境ではない。

こういう時代だからこそ、地域の異年齢の子ども集団の中で様々な事を学び、社会性を身につけ、活動を通して自主性を養う子ども会の活性化が重要になってくる。今こそ子ども会の減少を止める手段（活動内容等）を検討していただきたい。

令和4年10月5日

大村市教育委員会点検・評価協議会委員

野田和宏
田中まり子

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項目		点検・評価のコメント
		活動内容等
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	ア 会議の開催回数	<p>毎月1回の定例会及び必要に応じ臨時会を開催し、審議が必要な事項は漏れなく行われている。</p> <p>定例会12回、臨時会2回開催した。</p>
	イ 議事録の公開、広報、公聴活動の状況	<p>定例教育委員会の会議の開催日時・場所等を市のホームページや広報紙に掲載するとともに、議事録についても市のホームページへ掲載し、積極的な情報発信を行っている。</p> <p>令和3年度における傍聴者2人</p>
(2) 教育委員会と事務局との連携		<p>必要な情報提供や議案等の会議資料は事前送付を行うように努めており、教育委員と事務局の連携は図れている。</p> <p>議案を事前に送付することで、十分な審議ができるよう努めている。また、議案以外の事項についても委員と協議を行い業務を遂行している。</p>
(3) 教育委員会と市長との連携		<p>教育長は事務局の長として常日頃から市長・副市長との連携を図っている。</p> <p>教育委員と市長との総合教育会議を4回実施した。</p>
(4) 教育機関等との連携	ア 学校への訪問	<p>例年は、研究発表会、運動会、卒業式等、各小中学校ごとの行事へ積極的に参加しているが、令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加が減った。</p> <p>学校訪問回数 7回</p>
	イ その他施設への訪問、行事参加等	<p>例年は、学校以外の施設への訪問、行事参加を積極的に行っているが、令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加が減った。</p> <p>その他教育功労表彰等行事参加 7回</p>
(5) 教育委員の自己研鑽		<p>例年は、市町村教育委員会研究大会や研修会に出席し、教育委員の資質向上を図っているが、令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会自体が中止となった。</p> <p>ただし、その代替として開催されたオンラインでの研修会に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎縣市町村教育委員会連絡協議会研修会（諫早市）【中止】 ・長崎縣市町村教育委員会研究大会（五島市）【中止】 ・九州地区市町村教育委員会研修大会（福岡市）【中止】 ・市町村教育委員会オンライン協議会 3人

第2 教育委員会が管理又は執行する事務

項目	点検・評価のコメント
	活動内容等
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	<p>大村市教育振興基本計画に基づき、大村市の教育方針及び重点目標を決定している。</p> <p>重点目標の決定（令和4年3月定例会）</p>
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	なし
(3) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	<p>任免その他進退に係る内申については、臨時会において審議し決定した。</p> <p>教職員の人事内申に係る決定（令和3年8月及び令和4年2月臨時会）</p>
(4) 教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	<p>任免その他進退については、定例会において審議し決定した。</p> <p>事務局職員の人事に係る決定（令和4年3月定例会）</p>
(5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき実施した。</p> <p>・令和3年11月 市議会へ報告 ・令和3年11月 報告書を市ホームページに掲載</p>
(6) 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	<p>必要な規則改正等については、漏れなく審議している。</p> <p>規則等の制定・改廃 4件</p>
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	<p>必要な案件は漏れなく審議している。</p> <p>条例 1件、予算（当初） 1件、予算（補正） 4件 その他 0件 計 6件</p>
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	<p>各種委員会の委員の任命又は委嘱については、定例会において審議し決定した。</p> <p>委員の委嘱の議案 3件</p>
(9) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	なし
(10) 教科用図書の採択に関すること	<p>無償措置法第13条に基づき令和4年度使用小学校用教科用図書の採択事務を実施した。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント																																	
			活動内容等																																	
子育てしやすいまちづくり	子育てを支える環境の充実	(1)巡回補導事業 【社会教育課】	<p>青少年の非行防止のため、愛の声かけを中心とした補導活動を実施している。 また、市内の中学校・高校・駅前駐輪場において、毎月、自転車の施錠調査を実施し、二重ロックの推進を図っている。</p> <p>14地区で毎月2回の定期補導を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、夏越まつり等が中止となったことから、特別補導を中止した。また、各種補導委員研修会も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p> <p>補導活動 延べ865人参加 各種研修会 中止 決算額 1,518,800円</p>																																	
	子育てと支援の両立	(1)放課後子ども教室推進事業 【社会教育課】	<p>放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、小学校の余裕教室や野外教室等を活用して、宿題、読書、昔遊び、野外体験活動等の取組を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>三浦野性の森放課後子ども教室</td> <td>開催23日</td> <td>登録者27人</td> </tr> <tr> <td>中央小放課後子ども教室</td> <td>開催23日</td> <td>登録者21人</td> </tr> <tr> <td>鈴田小放課後子ども教室</td> <td>開催27日</td> <td>登録者7人</td> </tr> <tr> <td>三浦小放課後子ども教室</td> <td>開催22日</td> <td>登録者15人</td> </tr> <tr> <td>黒木小放課後子ども教室</td> <td>開催25日</td> <td>登録者25人</td> </tr> <tr> <td>竹松小放課後子ども教室</td> <td>開催19日</td> <td>登録者25人</td> </tr> <tr> <td>松原小英会話放課後子ども教室</td> <td>開催13日</td> <td>登録者21人</td> </tr> <tr> <td>旭が丘小放課後子ども教室</td> <td>開催20日</td> <td>登録者25人</td> </tr> <tr> <td>英語学習放課後子ども教室</td> <td>開催8日</td> <td>登録者30人</td> </tr> <tr> <td>玖島中学校OMURA未来塾</td> <td>開催44日</td> <td>登録者22人</td> </tr> <tr> <td>西大村中学校OMURA未来塾</td> <td>開催51日</td> <td>登録者28人</td> </tr> </table> <p>※松原宿寺子屋塾放課後子ども教室は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。 決算額 5,173,549円</p>		三浦野性の森放課後子ども教室	開催23日	登録者27人	中央小放課後子ども教室	開催23日	登録者21人	鈴田小放課後子ども教室	開催27日	登録者7人	三浦小放課後子ども教室	開催22日	登録者15人	黒木小放課後子ども教室	開催25日	登録者25人	竹松小放課後子ども教室	開催19日	登録者25人	松原小英会話放課後子ども教室	開催13日	登録者21人	旭が丘小放課後子ども教室	開催20日	登録者25人	英語学習放課後子ども教室	開催8日	登録者30人	玖島中学校OMURA未来塾	開催44日	登録者22人	西大村中学校OMURA未来塾	開催51日
三浦野性の森放課後子ども教室	開催23日	登録者27人																																		
中央小放課後子ども教室	開催23日	登録者21人																																		
鈴田小放課後子ども教室	開催27日	登録者7人																																		
三浦小放課後子ども教室	開催22日	登録者15人																																		
黒木小放課後子ども教室	開催25日	登録者25人																																		
竹松小放課後子ども教室	開催19日	登録者25人																																		
松原小英会話放課後子ども教室	開催13日	登録者21人																																		
旭が丘小放課後子ども教室	開催20日	登録者25人																																		
英語学習放課後子ども教室	開催8日	登録者30人																																		
玖島中学校OMURA未来塾	開催44日	登録者22人																																		
西大村中学校OMURA未来塾	開催51日	登録者28人																																		
育豊かな学力と生きる力を	幼児教育の充実	(2)幼稚園運営事業 【こども政策課】	<p>公立幼稚園施設の維持管理や保育事業の実施など、適正な幼稚園の運営を行っている。</p> <table border="0"> <tr> <td>・幼稚園園舎等整備</td> <td>維持補修件数</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>・幼稚園運営事業費</td> <td></td> <td>17,086,854円</td> </tr> </table>		・幼稚園園舎等整備	維持補修件数	5件	・幼稚園運営事業費		17,086,854円																										
・幼稚園園舎等整備	維持補修件数	5件																																		
・幼稚園運営事業費		17,086,854円																																		

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント	
			活動内容等	
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(1)小・中学校管理事業 【学校教育課】	学校の施設設備の維持管理のため、各学校へ予算を配当している。各学校へ配当された予算は、学校の経常的な維持管理を行う経費であり、良好な教育環境を継続的に提供していくため有効に執行されており、適正な学校の運営管理を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校管理事業費 □ 116,121,506円 ・ 中学校管理事業費 70,208,598円
		(2)小・中学校教育用コンピュータ活用事業 【学校教育課】	情報化が進展している現代社会において、コンピュータを介して「情報」に主体的に対応できる力を養えるため有効性は高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 41,502,984円 ・ 中学校 16,923,672円
		(3)小・中学校教育用ICT機器活用事業 【学校教育課】	学力向上につなげる授業改善を進める方策として、各学校におけるICT機器を活用した授業の実践は不可欠である。モデル校と同様のICT環境を他校へ整備することによって、市全体の授業改善の推進や学力向上が期待できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 1,868,216円 ・ 中学校 0円
		(4)小・中学校災害共済給付事業 【学校教育課】	独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付金制度に加入し、学校管理下で起こった児童生徒のけが等の治療にかかわる保護者の負担を軽減している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付件数（小学校 532件：中学校 232件） ・ 給付金額（小学校6,566,106円：中学校5,446,611円）
		(5)小・中学校教材等整備事業 【学校教育課】	教科学習における教材整備は、基礎・基本的な学習理解を助け、確かな学習能力を身に付けさせるうえで重要であり、その充実は不可欠である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書蔵書率（小学校 89.2%：中学校 107.1%） ・ 理科設備整備率（小学校 70.9%：中学校 85.3%）
		(6)小・中学校就学援助事業 【学校教育課】	「教育の機会均等」の観点から、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等必要な援助を行い、保護者の負担を軽減することで、教育の機会均等を図っている。	認定件数（準要保護＋要保護） 小学校 842人 中学校 501人

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント	
			活動内容等	
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(7)子ども読書活動推進事業	<p>学校司書が配置されたことにより、子どもの読書冊数が大幅に増加し、読書活動の推進が図られた。また、学校図書館ネットワークシステムの活用により、利用しやすい図書館づくりができています。</p>	<p>学校司書を配置し、蔵書整備や学習センターとしての機能の充実等、本と子どもをつなぐ取組を実施する。また、学校図書館ネットワークシステムを活用し、利用しやすい図書館づくりを行う。</p> <p>・図書貸出実績 587,142冊</p>
		【学校教育課】		
		(8)特別支援教育推進事業	<p>令和2年度まで開催していたチャレンジド行事は、特別支援学級在籍児童生徒数の増加やインクルーシブ教育の理念等を総合的に勘案して取りやめ、令和3年度からは各中学校区における取組を充実させている。</p> <p>※インクルーシブ教育…子ども一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、適切な支援を受けながら学ぶことができるという教育理念である。</p>	
		【学校教育課】		
		(9)英語力向上対策事業	<p>小・中学校の授業でALT（外国語指導助手）を活用することにより、外国人と接する学習場面を設定できるとともに、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験したり、言語や文化に対する理解を深めることができています。</p>	<p>13人のALTを全小・中学校へ配置し、英会話による授業や英語活動を行った。</p> <p>市内公立幼稚園を訪問し、早期に英語や異文化に触れる機会を作った。</p>
【学校教育課】				
(10)学校経営研究事業	<p>事業の継続により、各校においては有効に予算が活用され、特色ある教育活動が展開されている。</p>	<p>学級経営・指定研究・総合学習・特別活動の4分野について、学校の実状に合わせた特色ある学校経営を推進する。</p>		
【学校教育課】				
(11)教員補助員派遣事業	<p>配慮を要する児童生徒一人ひとりへの対応が可能となるとともに、学級集団が授業へ集中する時間を確保することができ、学級全体の学力向上を図る上で効果がある。</p>	<p>支援を要する児童生徒の在籍する学校に補助員を配置する。</p> <p>・各種補助員等 54人配置</p>		
【学校教育課】				

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(12)教職員研修事業 【学校教育課】	<p>研修会の開催が教職員全体の意識の高揚につながっており、その資質向上に大いに寄与している。</p> <p>小学校教育研究会・中学校教育研究会・校長会・教頭会に対し、研修の助成を行う。</p> <p>・校長会、教頭会、教諭等研修会数 30回</p>
		(13)就学教育相談事業 【学校教育課】	<p>就学相談事業の充実により、児童の適正な就学が図られている。</p> <p>就学児童の障害の種類や程度について実態を把握するとともに、保護者の悩みや不安、要望等について就学相談を行う。</p> <p>・教育相談回数 295回</p>
		(14)就学時健康診断事業 【学校教育課】	<p>要配慮児童の早期把握や入学後の児童の健康管理等において貴重な資料となっている。</p> <p>就学予定児童の心身の状況を把握する就学時健康診断を行う。</p> <p>・受診者数 1,029人 ・受診率 99.5%</p>
		(15)小・中学校健康管理支援事業 【学校教育課】	<p>学校教育法及び学校保健安全法に基づき実施している。</p> <p>市内小学校児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るために健康診断を実施する。</p> <p>(小学校)健康診断受診者数 6,309人 ・受診率 100% (中学校)健康診断受診者数 2,951人 ・受診率 100%</p>
		(16)小学校体育大会開催事業 【学校教育課】	<p>小学校児童の体育の振興や他校児童との交流等の成果をあげている。</p> <p>市内小学生の体育の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、市内体育祭を実施する。</p> <p>令和3年度の市内体育祭は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p>
		(17)小中学生文化振興事業 【学校教育課】	<p>児童生徒が、お互いの合唱や演奏を鑑賞したり、絵画や版画及び工芸等の作品にふれたりすることは、情操を培うことにつながり、豊かな心を育成していくうえで非常に大切である。</p> <p>市内音楽会、図工美術作品展の開催を実施する。</p> <p>・中学校美術作品展への参加者数 約400人 ・小・中音楽会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p>
		(18)中学校体育大会開催事業(市中総体) 【学校教育課】	<p>中学校生徒の体育の振興、体力向上等の成果をあげている。</p> <p>市内中学生の体育や部活動の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、各種体育大会(中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会)を開催する。</p> <p>・運動部入部者数 1,980人</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(19)中学校体育大会開催事業(県中総体)	<p>県中学校総合体育大会に市の代表として参加することにより、生徒の運動部活動の充実・発展や競技力向上につながっている。</p> <p>県中学校総合体育大会に市内大会を経て代表となった選手の輸送費、練習費を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季大会出場者数 439人 ・秋季大会出場者数 34人 <p>【学校教育課】</p>
		(20)保健推進事業	<p>各部会ごとの研修や実践発表等により、学校保健活動の充実が図られた。</p> <p>学校保健活動の充実を図るため、大村市学校保健会に活動費を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健推進部会 8回 ・参加率 100% <p>【学校教育課】</p>
		(21)小中連携・一貫教育事業	<p>各中学校区において、小学校と中学校の連携を進め、各校の教育課題改善のための活動及び特色ある学校づくりを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携活動費による6中学校区の連携推進 ・あすチャレ!スクール…中止 <p>【学校教育課】</p>
	教育環境の充実	(1)小・中学校遠距離通学対策事業	<p>遠距離通学児童生徒の保護者の負担軽減を図るとともに安心安全な通学を確保している。また、市単独事業として小学校は3km以上4km未満、中学校は5km以上6km未満の児童生徒についても通学費の75%を補助している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 134人 内訳(100%補助 77人、75%補助 57人) ※100%補助に黒木小特別転入学児8人及び武留路地区乗合タクシー利用児童5人を含む。 ・中学校 88人 内訳(100%補助 76人、75%補助 11人) <p>【学校教育課】</p>
		(2)大村市心の教室相談員配置事業	<p>不登校対策を一層推進していくためにはその予防に努めることが何よりも重要であり、その意味で非常に必要性が高い事業である。</p> <p>心に悩みを抱える児童生徒の気軽な相談相手として「心の教室相談員」を全中学校と小学校13校、合わせて19校に配置し、児童生徒の心の安定を図る。</p> <p>【学校教育課】</p>
		(3)心のケア充実対策事業	<p>不登校対策をはじめ、複雑・多様化する生徒指導上の問題、課題を抱える保護者への対応など、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の存在は、大村市の教育相談体制に欠かせないものである。</p> <p>スクール・ソーシャル・ワーカーを教育委員会に配置し、児童生徒・保護者・教職員の相談等に当たる。</p> <p>【学校教育課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(4)学校適応指導教室運営事業 【学校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・あおば教室は、不登校児童生徒の心的ケア及び学習を保障する場であり、学校復帰への大きなステップになっている。 ・令和2年9月に開設した小・中学生サポートルームConne（コンネ）は、学校へ行けない児童生徒の居場所として大きな役割を果たしている。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・教室長、指導主事、教育相談員、補助指導員等による集団活動や学習指導をとおして、学校や集団活動に適應できる規則正しい生活や社会性を育成する。 ・サポートスタッフが子どもの特性に応じたアドバイスを行い、社会的自立を目指して力を付けさせている。
		(5)小・中学校管理事業 【教育総務課】	<p>学校財産の適正な維持管理のために必要な保守点検等を行った。</p> <hr/> <p>貯水槽清掃委託、警備委託等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 20,454,335円 ・中学校 14,394,682円
		(6)小・中学校校舎等整備事業 【教育総務課】	<p>学校施設の延命化及び教育環境の維持管理のためには日常の点検及び定期的な維持補修が必要であり、緊急的な補修及び学校現場からの要望に対し必要に応じて施設の維持補修を行った。</p> <hr/> <p>維持補修件数 小学校 155件、中学校 52件</p>
		(7)小・中学校施設長寿命化計画推進事業 【教育総務課】	<p>本市の学校施設は、築30年以上を経過する建物が全体の8割を占めており、設備も含めて老朽化が進行しているため、「大村市学校施設長寿命化計画」に基づき、改築、長寿命化改良工事等を行い、教育環境の充実を図っている。</p> <hr/> <p>改築、長寿命化改良工事に係る基本設計業務委託等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画・基本設計業務委託 1件 ・基本設計業務委託 2件 ・耐力度調査業務委託 1件 ・アスベスト調査業務委託 1件 ・地質調査業務委託 1件
		(8)奨学金事業 【教育総務課】	<p>教育の機会均等化と、有為な人材を育成して教育の振興に寄与することを目的として奨学金の貸与を行った。給付型奨学金については、応募がなかった。</p> <p>また、給付型奨学金の見直しを行い、学業だけでなく、スポーツ及び文化芸術分野並びに海外留学を対象とするよう拡充し、令和4年3月議会で条例改正を行った。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・貸与者数 高校等 12人 大学等 18人 ・給付者数 大学 0人

【基本目標1】 人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(9)学校給食管理事業	<p>児童生徒が学校給食を通じ、適切な栄養摂取により健康を保持増進するとともに、正しい食習慣と食生活を理解するよう努めている。</p> <p>高度な衛生基準に基づく最新の設備により安全・安心な学校給食を毎日提供し、残食率も低い。</p> <p>食物アレルギー対応については、「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」に基づき実施している。また、定期的にアレルギー対応委員会を開催し、手順等の検証を行うことで、より一層安全・安心な運用を図っている。</p> <hr/> <p>市内の市立幼稚園・小学校・中学校に給食を提供した。</p> <p>市立幼稚園（3園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施日数 171日/年 ・食数 約70食/日 <p>小学校（15校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施日数 198日/年 ・食数 約6,840食/日 ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 34人 <p>中学校（6校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施日数 194日/年 ・食数 約3,130食/日 ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 5人 <p>【教育総務課 （学校給食センター）】</p>
		(10)学校給食助成事業	<p>学校給食会は、安全・安心で良質な学校給食物資を適正価格で一括購入している。</p> <p>同会に対し運営を支援するため、人件費等に相当する補助金を交付している。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食会補助金 11,163,627円 <p>理事長及び職員3名分の給料、手当、社会保険料等</p> <p>【教育総務課 （学校給食センター）】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(1)文化財管理事業 【文化振興課】	<p>指定文化財の除草・清掃など維持管理を行い、文化財の適切な保護に努めた。</p> <p>大村市の歴史の証しである貴重な文化財を保護し、後世へ継承するため、大村純忠史跡公園などの指定文化財地の除草・清掃などの維持管理を行う。 文化財の保護を図るため、文化財審議会を開催して指導・助言を得る。 指定文化財の管理者に、維持管理に関する経費の補助を行う。</p> <p>・国・県・市指定文化財数 55件</p>
		(2)市内遺跡発掘調査事業 【文化振興課】	<p>開発に伴う遺跡照会に対応し、保護の調整、必要に応じて確認調査を実施し、遺跡を適切に保護することができた。 昨年度から遺跡照会件数は大幅に増加している。大規模開発も依然増加傾向にある。</p> <p>遺跡該当照会件数 907件（うち遺跡該当286件） 遺跡該当中の開発件数 222件（確認調査20件、慎重工事186件、立会調査16件） 確認調査20件分の調査面積684.9㎡（R2年度27件1578.5㎡）</p>
		(3)三城城跡保存整備事業 【文化振興課】	<p>城の周知を図るとともに、周辺住民に遺跡を身近に感じてもらうため、三城城跡先行買収地の除草等を地元町内会に委託した。</p> <p>戦国時代の大村氏居城である三城城の跡地は歴史のまち大村にとって重要な史跡であり、その保存を図り歴史教育や観光資源として活用する。 三城城跡の国指定を目指すとともに、開発公社で先行買収した曲輪Ⅱを城跡の保存整備の核に位置づける。 買収した土地は、一年を通じた除草・清掃作業によって環境が保全されるとともに、周辺住民が活用することで、城跡に慣れ親しんでいる。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(4)民俗芸能保存事業 【文化振興課】	<p>民俗芸能の保存継承のため、保存会へ補助金を交付した。新型コロナウイルスのため、例祭での奉納やおおむら秋祭りほか各種行事への出演機会が大幅に減っている。</p> <p>国指定文化財である寿古踊、沖田踊、黒丸踊及びその他の民俗芸能の保存のため、管理・修理・保存及び公開に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寿古踊保存会（保存継承活動） ・ 沖田踊保存会（保存継承活動） ・ 黒丸踊保存会（保存継承活動）
		(5)旧楠本正隆屋敷管理運営事業 【文化振興課】	<p>旧楠本正隆屋敷の維持管理を行い、併せて季節のイベントを行い集客を図った。</p> <p>旧楠本正隆屋敷の維持管理公開のため、屋敷管理、庭園管理、警備などを委託した。新型コロナウイルスのため、イベント等の開催を見送った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入場者数 953人
		(6)歴史資料館管理運営事業 【文化振興課】	<p>大村に関する歴史資料を収集・保存するとともに、展示・資料閲覧・講座などを通じて大村の歴史情報を発信し、地域の歴史の理解を深めた。</p> <p>大村の歴史の普及や研究のため、大村に関する歴史資料を体系的に収集し、これを保管・管理する。歴史資料館において収集・整理した歴史資料を活用し、展示などを通じてその成果を情報発信する。 教育普及事業として、市内小中学校で郷土史クラブを実施した。また、公民館との連携講座を実施した。</p> <p>令和3年度歴史資料館入館者数 29,157人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展開催 1回 ・ 企画展開催 5回 <p>令和3年度郷土史クラブ参加校・人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校 11校、124人 <p>講座参加者 31人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全8回

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	芸術・文化の振興	(1)文化活動振興事業	文化協会関係団体、自主事業実施団体等補助金を交付したことによって、各団体は大会、展示会や冊子の刊行を行った。 新型コロナウイルスの影響で3団体が行事を中止した。
		【文化振興課】	文化基金を活用し、文化協会や各種文化団体に対する補助を行う。 ・文化活動振興事業補助金 5件 504,000円
		(2)市民ギャラリー運営費補助金	運営協議会へ運営費を補助することによって、市民が一年を通じて様々な文化芸術作品を発表、鑑賞できる場として安定的な活動がなされた。
		【文化振興課】	文化協会・美術協会・中央商店街・観光コンベンション協会等が「まちかど市民ギャラリー運営協議会」を立ち上げ、協議会会則・使用規定に基づき運営管理を行っている。 運営協議会はギャラリー内に事務所を置き、利用者の展示受付・企画・広報等の業務を行っており、この運営協議会に対し補助を行う。 ・展示日数 235日 ・入場者数 10,786人
		(3)子ども芸術文化活動事業	子どもたちが生の芸術文化に触れることにより、音楽の楽しさを感じ、芸術文化のすばらしさを知ることができた。令和3年度は学校訪問型で実施した。
【文化振興課】	生のオーケストラを聴く機会を設けるため、長崎OMURA室内合奏団のスクールコンサートを実施する。 ・小学校5年生対象 参加児童数 1,414人		
(4)音楽があふれるまちづくり事業	市内の様々な地域、様々な世代が音楽に親しむ機会を設けることができた。		
【文化振興課】	長崎OMURA室内合奏団に企画運営を委託し、まちかどコンサート、市民参加型音楽イベント、オーケストラコンサートなどを行った。		
(5)体育文化センター設備改修事業	体育文化センターの設備改修を行い、良好な利用ができる環境を整えることができた。		
【文化振興課】	築20年を経過する体育文化センターの改修を計画的に行っており、令和3年度はさくらホール音響装置の第2期工事を行った。		

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(1)成人式開催事業	<p>令和3年度は、令和2年度の延期分と合わせて2回の実施となったが、新成人者及び次期成人者からなる企画運営委員会が式典の企画・運営をおこなう等、式典に参画することにより、成人としての責任を自覚することができた。</p> <p>令和4年1月開催の成人式は、対面方式で、来賓の削減、手指消毒の徹底など、新型コロナウイルス感染防止対策を行って開催した。</p> <p>開催日 令和4年1月9日（日） 場所 大村市体育文化センター （シーハットおおむら メインアリーナ） 対象者 1,032人（男性 533人、女性 499人） 参加者 814人（男性 412人、女性 402人） 参加率 78.9% 決算額 1,716,239円</p> <p>【社会教育課】</p>
		(2)公民館管理運営事業	<p>地区住民や自主学習グループに、公民館での学習の機会と場の提供を行うことにより、生涯学習拠点施設としての利用促進を図ることができた。</p> <p>会議室等の貸出業務。施設設備の維持管理。 公民館運営審議会の開催（年2回）</p> <p>利用状況 ・中央 4,346件 109,355人 ・中地区 2,759件 38,221人 ・郡地区 2,294件 59,823人 合計 207,399人</p> <p>【社会教育課】</p>
		(3)公民館講座開催事業	<p>地域ニーズや地域課題に応じた講座を企画実施し、多くの市民に学習の機会を効果的に提供することができた。</p> <p>主催事業の企画実施（中央・中地区・郡地区公民館） ・中央 25講座 延べ1,889人 ・中地区 12講座 延べ1,132人 ・郡地区 12講座 延べ 731人 合計 3,752人</p> <p>※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため1講座を中止した。</p> <p>【社会教育課】</p>
		(4)西大村地区公民館管理運営事業	<p>地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進を図る生涯学習施設として有効に活用されており、地域活性化のために寄与している。</p> <p>指定管理者による管理運営 ・会議室の貸出し、定例利用グループによる文化祭（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため中止） 利用状況 1,027件 9,633人</p> <p>【社会教育課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント																														
			活動内容等																														
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(5)子ども科学館運営管理事業	<p>児童の健全な育成に寄与するため、科学に関する様々な教室を開催し、科学に関する知識の普及及び啓発を図った。 子ども科学館まつりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p> <p>開館日時 土・日・祝【4～9月:10～18時、10～3月:10～17時】 夏休み等の長期休業時【月曜日を除く毎日開館】 開館日数:149日 来場者:2,236人 教室参加者:延べ881人(押し花教室・科学工作教室など)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した教室があった。 決算額 3,433,197円</p> <p>【社会教育課】</p>																														
		(6)視聴覚ライブラリー管理運営事業	<p>視聴覚機材、教材の整備充実を行い利用を促進し、社会教育・学校教育等の振興を図ることができた。</p> <p>視聴覚教材及び機材の貸出し及び整備</p> <p>・利用本数 93本、利用者数 3,718人 ・ライブラリーだより発行(毎月)</p> <p>【社会教育課】</p>																														
		(7)地区住民センター活動支援事業	<p>大村地区と西大村地区のたよりを毎月発行しHPでも周知している。各住民センターへは運営委員会に活動支援を委託契約しており、住民センターだよりの発行、講座開催、図書貸出などの機能充実へとつなげている。地域においての情報発信や、学習、交流の場として活用されている。</p> <p>利用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>・三浦地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>4,972人</td> <td>【活動委託料</td> <td>51千円】</td> </tr> <tr> <td>・鈴田地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>7,047人</td> <td>【活動委託料</td> <td>51千円】</td> </tr> <tr> <td>・萱瀬地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>5,254人</td> <td>【活動委託料</td> <td>51千円】</td> </tr> <tr> <td>・竹松地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>9,161人</td> <td>【活動委託料</td> <td>101千円】</td> </tr> <tr> <td>・福重地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>6,153人</td> <td>【活動委託料</td> <td>51千円】</td> </tr> <tr> <td>・松原地区</td> <td>延べ利用者数</td> <td>5,454人</td> <td>【活動委託料</td> <td>51千円】</td> </tr> </table> <p>*各地区住民センターだより 毎月発行 決算額 6,557,791円</p> <p>【社会教育課】</p>	・三浦地区	延べ利用者数	4,972人	【活動委託料	51千円】	・鈴田地区	延べ利用者数	7,047人	【活動委託料	51千円】	・萱瀬地区	延べ利用者数	5,254人	【活動委託料	51千円】	・竹松地区	延べ利用者数	9,161人	【活動委託料	101千円】	・福重地区	延べ利用者数	6,153人	【活動委託料	51千円】	・松原地区	延べ利用者数	5,454人	【活動委託料	51千円】
		・三浦地区	延べ利用者数	4,972人	【活動委託料	51千円】																											
・鈴田地区	延べ利用者数	7,047人	【活動委託料	51千円】																													
・萱瀬地区	延べ利用者数	5,254人	【活動委託料	51千円】																													
・竹松地区	延べ利用者数	9,161人	【活動委託料	101千円】																													
・福重地区	延べ利用者数	6,153人	【活動委託料	51千円】																													
・松原地区	延べ利用者数	5,454人	【活動委託料	51千円】																													
(8)生涯学習推進事業	<p>生涯学習に関する講演会を開催する。</p> <p>令和3年度:講演会未実施</p> <p>【社会教育課】</p>																																

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント	
			活動内容等	
文化の振興	青少年の健全育成	(1)健全育成協議会支援事業	<p>市内の青少年関係団体及び関係機関の緊密な連携のもと、青少年の健全育成を図っている。</p> <p>さらに、自転車の無灯火や並列走行、無施錠などが多いので、自転車のマナーアップ運動の推進を図っている。</p>	
			<p>ココロねっこ運動を推進し、広報活動等を通じて大人の意識を変え、地域の子どもたちを地域で見守ることができるように地区健全協活動の支援を行った。</p> <p>「ココロねっこパレードINおおむら」、「自転車マナーアップ運動」及び「健全育成研究大会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。「自転車マナーアップ運動」の代替措置として、少年センター職員が車両による広報啓発活動を実施した。</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> ・非行事故防止キャラバン 8回 111人参加 ・健全育成研究大会 中止 ・ココロねっこパレードINおおむら 中止 ・自転車マナーアップ運動 中止 ・メディア安全指導講習会実施 32回 延べ4,811人参加 	
		【社会教育課】	決算額 1,597,300円	
		(2)子ども会育成事業	<p>子ども会加入者の減少は全国的な課題であるが、本市も加入者減少に歯止めはかけられない。ただ、子ども会活動は子どもを家庭、学校、地域で育てていくためにはたいへん重要な役割を担っている。各種団体と連携を図り、活動を進めていく必要がある。</p>	
			<p>子ども会の活動を助長し、地域との連携を図りながら子ども会活動への助成を行う。</p> <p>【加入団体数62単子】</p>	
			<p>子ども会研修会は実施したが、水 Rocket 大会、子ども大会、子ども会発表会、壁画コンクール等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止とした。</p>	
		(3)巡回補導事業<再掲>	<p>P 6 政策・子育てしやすいまちづくり — 施策・子育てを支える環境の充実、に記載。</p>	
		【社会教育課】		
		(4)少年センター管理運営事業	<p>相談窓口の相談件数自体は増えていないが、多様化により様々な悩みの相談があり、その対応として適切な指導ができた。施設の老朽化や台風被害により破損した建具・蔵の改修工事を令和2年度と3年度で行った。</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> ・電話や来所での青少年の悩みに対し、適切な指導助言を行い、解決へ導いた。 ・有害環境の浄化のため、白ポスト（有害図書等）の回収や立入調査を伴う社会環境実態調査を実施した。 ・相談件数 11件 ・立入調査件数 132件 ・令和2年度建具改修工事費 5,066,600円 ・令和3年度建具、蔵改修工事費 18,101,600円 	
		【社会教育課】	決算額 25,471,738円	

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	図書館の充実と整備	(1)図書館管理運営事業	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に応じて、8月から9月まで、1月から2月までの2回、開館時間の短縮措置を講じたものの、安定した図書サービスの提供を継続することができた。著名人のトークショーや夏休みの子ども向け講演会など、ギャラリー等の施設空間やリモート講演などを活用し、適切な感染対策を講じて開催することができた。</p> <p>また、中地区公民館図書室では、交流スペースを拡充し、おはなし会などのミニイベントを実施できるよう改善した。</p>
			<p>ミライオン図書館（本館）の利用状況（ ）内は前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人貸出冊数 850,338冊（89,155冊増、約11.7%増） ・新規登録者数 5,833人（830人減、約12.5%減） ・来館者数 374,294人（48,537人増、約14.9%増） ・行事等参加者数 6,802人（3,009人増、約79.3%増） <p>本館、分室、住民センター等の利用状況（ ）内は前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人貸出冊数 942,201冊（111,705冊増、約13.5%増） ・新規登録者数 5,988人（1,271人減、約17.5%減） <p>【図書館】</p>
		(2)図書等整備事業	<p>市民に新しい情報を提供するために、図書等を計画的に購入するとともに、図書資料へ装備するICタグの購入・貼付等、図書資料整備を実施した。</p>
			<p>図書の整備状況（ ）内は前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末蔵書冊数 205,810冊（7,287冊増、約3.7%増） <p>【増減の内訳】</p> <p>購入 7,909冊、寄贈受入 356冊、再登録 202冊 廃棄 △1,180冊</p> <p>【図書館】</p>
		(3)ミライオン施設等維持管理事業	<p>ミライオン複合施設（県立・市立図書館、市歴史資料館）の施設・設備等の維持管理を一元的に実施した。</p>
			<p>電気、消防、空調等の各種法定点検、警備、清掃、緑地帯の維持管理など施設の運営上、重要な業務について、県立職員とも協議、意見交換しながら、適切に継続実施することができた。新型コロナウイルス感染症対策の柱となる、「消毒」や「換気対策」は、清掃業務委託において実施し、換気設備の運転管理は中央監視業務委託で継続対応した。</p> <p>また、電気調達方法を市庁舎ほか市有施設と統合した結果、電気料金の大幅減額を達成した。</p> <p>R3決算額 14,169,114円（△7,988,719円 約36%減） R2決算額 22,157,833円</p> <p>その他、コロナ禍により実施できていなかったミライオン職員の合同避難訓練（火災想定）を、消防署の指導を仰ぎながら、県立職員ほかミライオンで勤務する職員と意見交換を行いながら実施することができた。</p> <p>※ 消防署員立ち合いは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。</p> <p>【図書館】</p>

【基本目標2】健康でいきいき暮らせるまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
制健康づくりの推進と医療体制の充実	スポーツの振興	(1)体育文化センター運営管理事業 【文化振興課】	市民の利便性向上と管理経費の節減を図りながら施設の運営管理を実施した。
			<p>スポーツ・文化の振興を通じ、市民の活力と潤い、そして交流の場を創出し、市民の健康づくりと生きがいづくりを図る。施設の利用受付、貸出、維持管理を行いながら、スポーツ・文化事業の企画実施により、スポーツ・文化の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者 146,913人 ・使用料収入 28,946千円 ・自主事業参加者 6,250人

【基本目標3】持続可能な行財政運営と市民協働の推進

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
行政効率の向上と開かれた運営の推進	の効率的な行政運営	(1)公共施設予約システム管理事業 【文化振興課】	インターネット及び携帯電話を利用して、公共施設の空き状況の確認や予約ができるシステムの維持管理を実施した。
			<p>公共施設利用者へ時間や場所に縛られないインターネットによる予約システムを提供するために、システムの維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録施設 20施設（体育文化センター等） ・利用件数 19,851件
地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり	地域コミュニティの活性化	(1)大村市公民館連絡協議会補助金 【社会教育課】	<p>市公民館連絡協議会に補助金を交付することにより、町内公民館活動の育成・発展を図った。 令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会等が書面決議や中止となった。</p> <p>大村市公民館連絡協議会補助金 2,500千円 町内公民館 126館</p> <p>5月29日 市公連定期総会 書面開催 感謝状贈呈 9人 8月7日 公民館長研修会 44人参加 10月14～15日 県公民館大会（対馬大会）書面開催 11月13日 市公民館大会 63人参加 12月 先進地視察 中止 令和3年4月～令和4年3月 各地区研修会 令和3年4月～令和4年1月 理事会（年4回）</p> <p>決算額 2,500,000円</p>
		(2)町内公民館建設費補助金 【社会教育課】	<p>町内公民館の増改築工事に対し、補助対象事業費の1/2以下の補助を行った。</p> <p>町内公民館建設費補助金 9件 補助総額 4,212千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増改築 9件 ①松山 513千円 ②日泊 244千円 ③桜馬場第1 299千円 ④植松1丁目 850千円 ⑤下久原 714千円 ⑥岩舟 352千円 ⑦沖田 390千円 ⑧乾馬場 490千円 ⑨玖島江迎 360千円 <p>* 1館（今富）は、大雨災害の河川改修工事にかかる公民館移転事業の計画があることから、公民館の改修実績はなかった。</p> <p>決算額 4,212,000円</p>

第三期大村市教育振興基本計画（令和2年度～6年度）

施策	指標	基準値 (平成30 年度)	実績値 (令和2 年度)	点検・評価のコメント	目標値 (令和6 年度)
				実績値(令和3年度)	
1	全国学力・学習状況調査平均正答率の全国比（全国を100としたときの値） 【学校教育課】	小国97.4 小算95.1 中国92.4 中数89.4	実施なし	全体的に向上しており、引き続き児童生徒の学力向上に向けて授業改善に努めていく。 小国100.6 小算 96.9 中国 94.4 中数 96.2	いずれも 100以上 (+)
2	「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査） 【学校教育課】	80.0%	実施なし	学校・家庭・地域における様々な関わりの中で、児童生徒の自己肯定感や自己有用感が高まるような取組を実践していく。 79.9%	100.0%
3	総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査） 【学校教育課】	小64.7% 中65.9%	実施なし	タブレットPCを活用しながら、調べ学習や表現活動に主体的に取り組む態度を育成していく。 小 70.5% 中 73.7%	80.0%
4	「運動が好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査） 【学校教育課】	小5 86.2% 中2 80.5%	実施なし	小中学校ともに8割を超えている。引き続き体育の授業や部活動の充実に努める。 小5 84.8% 中2 83.2%	小中 90.0% 以上
5	外部人材を活用した学びの場を設定している学校の割合 【学校教育課】	—	80.95%	コロナ禍により様々な制限があったが、可能な範囲で外部人材を活用した。 80.95%	100.0%
6	不登校児童生徒の割合（全児童生徒比） 【学校教育課】	小0.76 中3.65	小0.88 中4.09	不登校の要因が多岐にわたり、かつ複雑になる傾向にあるため、改善が難しいケースが増えている。 小 1.44 中 4.74	小0.5 中3.0
7	健康であるために、食事をしっかり取ることは「大切だ」と回答した生徒（中学生）の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査） 【学校教育課】	90.9%	実施なし	全国体力・運動能力、運動習慣等調査から左記質問が削除されたため、全国学力・学習状況調査において「朝食を毎日食べている」と回答した生徒（中学生）の割合で点検・評価を実施。今後もあらゆる機会を通して食育の大切さを児童生徒や保護者に周知啓発していく。 平成30年度 84.1% 令和3年度 86.1%	100.0%

施策	指標	基準値 (平成30 年度)	実績値 (令和2 年度)	点検・評価のコメント	目標値 (令和6 年度)
				実績値(令和3年度)	
8-1	大村市教育・保育力向上研修会 参加者数 【こども政策課】	250人	95人	令和3年度当初に計画していた研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、日程、会場、参加手段など変更せざるを得ない場合があり、参加人数の制限をかけるなどの工夫を行いながら、予定していた研修会をすべて実施した。しかし、参加人数については、制限をかけた影響から目標値に達しなかった。	250人
				182人	
8-2	園庭開放参加者数 【こども政策課】	500人	43人	各園10回の計30回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、18回を中止し、感染症対策を行ったうえで12回実施した。	500人
				77人	
9	近隣の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(全国学力・学習状況調査) 【学校教育課】	86.3%	実施なし	各中学校区における小中連携についてどのような取組が効果的か検証し、さらに円滑な推進を目指す。	100.0%
				85.8%	
10	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行う学校の割合(全国学力・学習状況調査) 【学校教育課】	18.4%	実施なし	全国学力・学習状況調査から左記質問が削除されたため、学校運営に関する諸調査において「公共図書館と連携している」と回答した学校の割合で点検・評価を実施。今後も関係機関・団体との連携により学校教育の充実を目指す。	100.0%
				71.4%	
11-1	学校給食の喫食率 ※牛乳は除く (提供した給食量-食べ残した量)÷提供した給食量×100 【教育総務課(学校給食センター)】	98.4%	97.6%	各学校で食べ残しを減らすよう指導しているが、新型コロナウイルス感染症による欠席者が多数いたこともあり、基準値を下回った。	99.0%
				97.5%	
11-2	小中学校のトイレ洋式化率 【教育総務課】	43.7%	65.1%	令和元年度及び令和2年度に、小学校13校及び中学校5校のトイレ洋式化改修工事を行い、目標値を達成し、令和2年度をもって、事業を終了した。	63.0%
				65.1%(事業終了)	

施策	指標	基準値 (平成30 年度)	実績値 (令和2 年度)	点検・評価のコメント	目標値 (令和6 年度)
				実績値(令和3年度)	
12	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うと回答した児童・生徒の割合(全国学力・学習状況調査) 【学校教育課】	84.5%	実施なし	全国学力・学習状況調査から左記質問が削除されたため、同調査の「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童・生徒の割合で点検・評価を実施。研修会等の実施により、個に応じ、個のよさを発揮させる教育支援の充実を目指す。 平成30年度 84.6% 令和3年度 79.9%	90.0%
13	人権教育講演会参加者の意識向上の割合 【学校教育課】	63.7%	実施なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講演会はオンラインにて期間限定で行った。 72.9%	90.0%
14	大村市イングリッシュ・パフォーマンスコンテストの参加者数 【学校教育課】	—	実施なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県のコンテストにあわせ対象を中学生のみとして実施した。 中 10人参加	27人以上 【(小)各校1人以上 (中)各校2人以上】
15-1	公民館講座受講者数 【社会教育課】	1,335人	623人	令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス症の感染拡大防止のための、利用制限等があり、参加定員も例年より減らし開催した影響があった。 714人	1,500人
15-2	公立公民館の定例利用グループ登録者数 【社会教育課】	2,380人	2,095人	定例利用グループ会員の高齢化、固定化が進み、登録数は年々減少し続けている。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためグループの活動自体が制限されたことがグループ解散などに拍車をかけた。 1,901人	2,500人
15-3	市民一人当たりの貸出冊数 【図書館】	3.49冊	6.79冊	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による1か月の臨時休館に加え、豪雨、大型台風、大雪などの気象災害が相次いで、来館者数が伸び悩む要因が重なった。 一方、令和3年度は、感染拡大に伴う開館時間短縮はあったものの、気象災害は減少し、1年を通じて安定した来館者数の推移が継続ができた。 7.47冊	9冊

施策	指標	基準値 (平成30 年度)	実績値 (令和2 年度)	点検・評価のコメント	目標値 (令和6 年度)
				実績値(令和3年度)	
16	歴史資料館入館者数 【文化振興課(歴史資料館)】	—	29,147人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響を受け、入館者数が伸びなかった。	50,000人
				29,157人	
17	指定文化財の数 【文化振興課】	50件	55件	新たな文化財指定はなかった。	60件
				55件	
18 -1	ながさきファミリープログラム 研修の実施回数 【社会教育課】	28回	1回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、諸団体からの依頼がなくなり、実施回数が減った。	40回
				6回	
18 -2	ココロねっこパレードinおおむ らへの参加者数 【社会教育課】	280人	実施なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	350人
				実施なし	
19 -1	青少年健全育成協議会の主催行 事への年間参加者数 【社会教育課】	14,860人	5,258人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各地区・校区健全協、市健全協主催行事の多くが中止となった。	16,000人
				5,932人	
19 -2	補導活動への年間延べ参加者数 【社会教育課】	1,653人	864人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定期補導を一定期間中止し、祭等の中止に伴い特別補導も中止した。	1,700人
				865人	
20 -1	放課後子ども教室及びOMURA未 来塾の実施箇所数 【社会教育課】	10箇所	12箇所	令和2年度に新たに西大村中学校OMURA未来塾及び旭が丘小学校放課後子ども教室の2箇所を開設した。	15箇所
				12箇所	
20 -2	コミュニティ・スクールの開設 数 【学校教育課】	2箇所	2箇所	学校運営協議会設置検討委員会を3回開催。コミュニティ・スクールへの移行をさらに推進していく。	6箇所
				2箇所	
21	芸術・文化事業への年間参加者 数 【文化振興課】	11,884人	2,318人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベント等が中止になった。	13,700人
				7,831人	